

■第11回全国 ■第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

地域名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
北海道・東北	青森県	青森聾学校	演劇・コント	時をかけるりんご	私たちがやりたいのは、手話の表現の多様性や手話で伝え合う楽しさを、青森聾学校らしいユーモアあふれる表現で発信することです。今年度は、青森独自の昔の手話と現在の手話の違いから登場人物の会話がすれ違うというストーリーを時に真面目に時に面白く演じます。私たちの演技を見終わった時には「手話って面白い」「伝わることって楽しい」と感じていただけたと思います。そして、それぞれの地域の手話に興味をもち、様々な世代の人たちと話をしたくなっているはずですよ。	青森聾学校は、手話で伝えあう楽しさを発信してきました。今年度はSF要素あり、もちろん青森らしい笑いありの演劇風コントで悲願の初優勝を目指します。私たちの演技を見て手話の魅力を感じてもらいたいです。	4	○
北海道・東北	秋田県	秋田県立聴覚支援学校	演劇	湖の伝説	秋田で語り継がれる“湖を結ぶ伝説”をモチーフにした創作劇です。掟を破り、仲間の分のイワナを食べ、龍になってしまった八郎。永遠の美を求めて龍になってしまった辰子。それぞれが龍に変わる場面は身体全体での表現を取り入れました。同じ境遇の2人を結んだ渡り鳥。八郎と辰子は田沢湖で結ばれ、2人の愛で日本一深い湖になりました。劇のクライマックスは昨年度挑戦した秋田県民歌です。「神秘の十和田は田沢とともに 世界に名を得し誇りの湖水 山水皆これ 詩の国秋田」の歌詞をこの物語と重ね、神秘的な湖と龍になった哀しくも切なく美しい2人の世界を表現しました。	「秋田の魅力伝えたい！」という思いをもった個性豊かな高等部5人。5人それぞれのよさを生かし、今年は秋田で語り継がれている伝説に挑戦しました。ふるさと秋田の誇りを胸に、けっばるど〜!	2	○
北海道・東北	秋田県	金足農業高等学校	演劇	桃太郎	皆さんがご存じの昔話を、手話を用いて演じることで、たくさんの人に深く内容を知ってもらいたいです。秋田県の高校なので、物語の中に秋田の要素を取り入れました。目で見えて楽しめるよう、演技のアクションにも力を入れたので、ぜひ注目してください。	私たちは秋田県立金足農業高校の生活科学科で福祉を学んでいます。練習を重ね、お互いに指摘し合い、完成度を高めてきた桃太郎の演劇で、たくさんの方々に手話言語の魅力が伝えられるよう一丸となって頑張ります!	初	—
北海道・東北	福島県	聖光学院高等学校	演劇	個性の尊重	ジェンダーレス社会やLGBTQなどの言葉をメディアで耳にすることが増え、多様性を求められることが多くなりました。今回のテーマを「個性」とし、服についての劇にしました。主人公は、男の子の服を持っているけど、両親に見られたらと思うと、着ることができずにいました。友達に説得されて遊ぶときに男の子の服を着ていくと、たまたま両親に見つかってしまいます。「女の子でも男の子の服が好きだ。」という女の子の気持ちと「女の子としてのファッションを楽しんでほしい。」という両親の気持ちがぶつかります。その場での解決はできませんが、「性別に縛られず、好きな服を着る。個性はいろいろあって良い。」という願いを込めて演技をしました。	私たち手話部は今年で創部3年目です。手話に触れたことのない部員が多い中で、手話甲子園に参加します。部員全員で、表情と表現力を磨き、全力で取り組んだ劇「個性の尊重」になります。どうぞご覧ください。	3	—
関東	栃木県	宇都宮商業高等学校・栃木県立聾学校	演劇	私たちの『奇跡と軌跡の物語』	町で聾者と出会った体験を先生に相談したことがきっかけで、宇商高家庭クラブで手話の勉強を始めました。一方聾学校では、Kさんにはクラスメートがおらず、将来、人との関わり方に不安を感じていました。Aさんは、地元の中学校に通っていましたが、コロナ禍で周囲がマスクをつけたため孤独を感じ、高校は聾学校に進学しようか悩んでいました。2024年、少しの勇気と選択から、私たちは手話をきっかけに出会い、手話パフォーマンス甲子園に合同チームで参加するに至りました。SDGs、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、まずはお互いを知ることが大切だと感じています。「次は…あなたの番です。」	栃木県立宇都宮商業高等学校家庭クラブと栃木県立聾学校の合同チームで参加します。手話をきっかけに出会い、練習を重ねた私たちのパフォーマンス、私たちの『奇跡と軌跡の物語』をどうぞご覧ください。	宇：初 栃：2	○
関東	埼玉県	大宮ろう学園	演劇・ポエム	小さな命が育つ	昔、ろう者が子供を授かっても、親や先生の反対にあって中絶や不妊の手術を受けさせられた。このことは憲法違反だとして、私たちの先輩であるろう者が裁判で争った。どう生きるかを自分で決める権利を奪うことは、尊厳を踏みにじったことになる。私たちは、ろう老人ホームの職員さんから、ろう高齢者の苦しさを訴える資料をいただくことができました。それを読んで「何でこんなことをするんだろう?」と思ったり、「こんなことして何になるんだ!」などの感情が湧き、私たちはとても悲しくなった。この演目を通して、強制不妊されたろう者の気持ちを多くの人に理解してもらいたい。ろう者も聴者も関係なく、みんな幸せになれるように!	メンバー6人はそれぞれ部活動が違いますが、時間を調整し練習に取り組んできました。練習がうまく進まなかった時「大丈夫!次、頑張ろう!」と励まし合えるチームです。チームワークの良さでは負けません!	3	○
関東	千葉県	松戸向阳高等学校	コント	修学旅行	1. 学生らしさを生かした内容を。2. 手話という視覚言語を広めよう。3. 福祉を学ぶ身として多くの言語を学ぼう。という3つ大きな目標として作成したコント「修学旅行」 教師役1名、生徒役2名で編成したこのコントは台本や構成、編集すべて自分らで協力し、作成しました。生徒より修学旅行を楽しみにしている教師というそうでない者と自分たちのオリジナリティーを合わせながらコントを行いました。観客が「自分が体験しているのか?」と思っていただけるような身近なもので作り上げたコントで沢山笑ってもらえると嬉しいです。	松戸向阳高校です。自分たちが楽しみながら手話という視覚言語を学び、それを多くの人に広めようという目的で参加しました。ぜひこのコントで笑いながら手話に触れていただけると嬉しいです。	3	—
関東	東京都	豊南高等学校	演劇・コント	言語戦隊 手話ッチ★★ ～手話歌は伝わる?～	色々なろう学校と交流をしてきたけど、手話歌に関しては良い意見もあれば悪い意見も。でも一緒にやると盛り上がる!だからどんな方法が良いのか考えて、一番交流の多いろう学校、明晴学園の生徒たちに協力してもらってどんな表現が良いのだろうかというテーマで、一年生を中心に練習してきました!3分に縮めるのが大変でしたが、自分たちの伝えたいことは入れることが出来ました!本編では5分に完成させた手話うたはサインポエムの要素もあって初めて明晴学園の子に見せてもらった時は泣いちゃいました!「手話歌」と「手話うた」という違いは字幕で区別しました!	創部11年の豊南高等学校手話部では、国内あちこちに行っていて、去年は国外にも行って手話を広めてきました!まだまだいろんな手話の広め方があるんじゃないかなと、みんなで楽しみながら毎日挑戦し続けています。	10	—
関東	東京都	潤徳女子高等学校	演劇	「ヘンゼルとグレーテル」 ～もしグレーテルがろう者だったら～	私たちは手話を学ぶ中で、手話が禁止されていた時代がちょっと前まであったこと、聴者に近づけるため、血の滲むような努力をして発声訓練を受け声を獲得してきた多くのろう者がいたことを知りました。このお話は、昔話をベースに、かつてろう者が置かれてきた境遇と絡めたもうひとつの物語です。ろう者のグレーテルは、聴者の兄と比較されていることに反発心を感じながら生きています。聞こえないから何もできないんだと叱責され祖母の家を飛び出しますが、兄と共に様々な出会いを経て魔女の家にたどり着き、魔女に自身の胸の内を打ち明けたグレーテル。魔女はグレーテルが自分の価値を見出す手助けをします。グレーテルの見出した答えとは?	高校生になって初めてふれる手話。伝える、伝わることを楽しみながら元気に活動しています!手の正確さだけでなく、表情や身振りを大きく動かすことを意識しています。こころに響く物語をぜひご覧ください!	8	—

■第11回全日 ■第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

地域名	都道府県	学校名	演技の種類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	演劇	共に生きるために ～相手の立場になって行動しよう～	障がいのあるなし関係なく、共に学び共に生活することを目標とするインクルーシブ教育を行っている学校の日常を舞台にこの物語は進んでいきます。ある日、学校の重大イベントである体育祭の種目決めがあり、車いすの生徒はどんな種目に出られるのか、耳の聞こえない生徒はどうすれば種目に出られるのかなど皆が公平に安心して楽しめる体育祭を実現するために生徒たち自身が考え、積極的に発言し、クラス全員で話し合っていて決めていきます。この物語を通して、全ての人が共に生きていく上では自分のことだけではなく、思いやりの気持ちを持って相手の立場になって行動することの大切さを伝えられたらと思います。	私達は横浜南陵高等学校社会福祉部です！普段は手話ソングやボランティア等の活動をしています。今回のテーマは「相手の立場になって行動しよう」です。大切なことなので伝えられるように頑張ります！	9	○
関東	神奈川県	日本女子大学附属高等学校	ペープサート劇	カラフル	多様性をテーマに自分たちで台本を1から作ることを一番にこだわりました。カラフルというタイトルは登場人物みんなの個性は様々な色がある、そしてお互いに個性を認め合うことができるという思いが込められています。その個性をうまく表すために、ペープサートという紙人形劇にしました。	手話初心者で二人で、手話を通して様々な人と関わりたいという思いで活動してきました。また人の数だけ多くの個性がある。そしてみんながその個性を大切にしてほしい。というのも私たち2人の中にある思いです。	3	○
中部	富山県	小杉高等学校	演劇	おへそ	私たちは高校で生活ビジネス系列に所属し、保育や福祉について学んでいます。子どもたちと関わることも多く、子どもたちに劇を通して、手話に興味を持ってもらいたいと考えています。今回は、本校卒業生の金井恭子さんの「おへそ」をもとにナレーターと演者に分かれて演じます。見ている人が分かりやすいように、ナレーターと演者が手話や演技をするときに、それぞれが目立もらえるようなタイミングを考え、演じています。かみなり様と園児がおへそを引っ張るシーンをうまく表現することで、みなさんに楽しんでもらいたいです。また、子どもたちに手話に興味を持ってもらえるように元気いっぱい演じています。	私たち小杉高校の保育・福祉分野の11名は保育や福祉について学んでいます。今回2回目の出場です。見てくださった方を、私たちの元気なパフォーマンスで笑顔にしたいです。予選突破を目指して頑張ります。	2	—
中部	石川県	田鶴浜高等学校・石川県立ろう学校	演劇・ポエム	能登から"つなぐ"みんなの未来	石川県立ろう学校、田鶴浜高校は、県内全域の生徒が在籍しており、今なお日常生活に戻れない生徒がいます。そのような中「能登半島地震」の内容を取り上げることに戸惑いもありましたが、地震を経験した私達だからこそ伝えられる表現があると、工夫を重ねてきました。冒頭で、昨年度披露した場面を引用し、今まで、当たり前だと思っていた「石川の四季」を想起します。そして親戚と過ごす当り前の「正月」が地震によって一変し、家屋の倒壊、津波からの避難、避難所等の体験とともに湧き出た感情（無、不安、悲しみ）を表現し、更に全国から受けた応援に対する感謝と未来への希望を表現することで、ふるさと石川の未来への思いを綴ります。	私たちは、石川県立ろう学校と田鶴浜高校の合同チームです。それぞれの視点から、意見やアドバイスを出し合い、成長しています。私たちにしか出せない表現と魅力に注目していただくと嬉しいですよ！	田：11 石：2	○
中部	愛知県	桜花学園高等学校	演劇・マジック	はびねずイリュージョン ～謎の来客者現れ大惨事?!～	今回は、マジックと劇を掛け合わせたパフォーマンスをする。マジックでは、耳が聞こえる聞こえないにかかわらず、見た人全員に楽しんでもらえるように考えた。普段の私たちの活動の一環であるマジックを知ってほしい。劇では、「悪魔が時を止める」などの非日常的でクスッと笑えるように工夫した。それぞれの表情や仕草にも注目していただきたい。全体を通して、私たちの想いが伝われば嬉しい。	手話で幸せを届けることをモットーに活動している。手話になじみのない方にも興味を持って頂けるように、手話を使ったダンスやマジックを行っている。私たちが活動を続ける中で、聴覚障がいへの理解が高まれば嬉しい。	10	○
中部	愛知県	岡崎東高等学校	演劇	私たちが伝えたいこと	現代社会では、SNSなどの間接的な「つながり」が多くなり、実際に会って話すような直接的な「つながり」が少なくなっています。私たちはボランティアを通して「つながり」の大切さを知りました。直接顔を見ながら「目」と「心」で伝え合う事が大切なのではないでしょうか。ボランティア先で出会った地域の方々の顔を見て話をすることで、相手の方も笑顔になり、私たちまで幸せな気持ちになることができました。スマートフォンを触る時間も楽しく幸せな時間です。ですが、実際に目を見て心と心で会話をすることで、もっともっと幸せが増えていくのではないかと思います。	私たちは手話甲子園に出ると決めた日から切磋琢磨してきました。私たちの気持ちがみなさんに伝わるように一生懸命練習してきました。JRC部みんなで想いが伝わるように頑張ります。	8	○
近畿	京都府	京都府立聾学校	演劇	私たちが出会ったもの	私たちには、ある共通点があります。それは「音楽が好き」ということです。周囲の人に「聞こえないから音楽を聴くな」、「音楽に関する仕事に就くのは無理」等、様々なことを言われ、悔しい思いをしたことがあります。でも私たちは聞こえないから音楽を諦めるのではなく、聞こえなくても様々な方法で音楽を楽しめるということ、もっとたくさんの人に伝えたいと思いました。また、この劇の作成を通して知った、音楽の新しい楽しみ方もありました。悲しい時に、一番支えになってくれた音楽をこれからも楽しみ、好きでいられるように過ごしたいと思います。	音楽が大好きな京都府立聾学校有志チーム。聴覚障がいがあっても音楽を楽しんでいます。音楽という趣味を周囲の人に理解されず、悔しい思いをすることも。障がいのせいで趣味を諦めたくない気持ちをこの劇に込めました。	5	○
近畿	京都府	日星高等学校	演劇・ポエム	スイミー	小学生の時に学校で習ったスイミー。みんなが知っている物語を演じるにあたり、結末で一匹になるようなたくさんの魚を、人数の少ないなかどう表現するか悩みました。また、虹色のクラゲやブルドーザーみたいな伊勢海老といった個性のある生き物も表現するにあたり、いかに身近なものを使って見る側も演じる側も楽しめるように、と考えましたので、フフと笑いながら見てもらえると嬉しいです。	日星高等学校の手話部と放送部です。今年はYouTubeに動画をあげている放送部に協力をお願いし、コラボで応募することにしました。手話レベルとしては初心者の集まりですが、楽しく演技できたと思います。	5	—
近畿	大阪府	松原高等学校	演劇	松原高校の日常	松原高校には障がいがある、外国にルーツがある、性に違和感があるなど、多様な仲間が集まっています。私たちは、お互いを尊重し、認め合うことで誰もが安心して過ごすことができる学校をめざしています。私たちはこのような取り組みが自然に行われている松原高校に強い愛を感じます。世間では「手話は耳の聞こえない人のためのもの」と考える人が多いと感じますが、私たちはそうは思いません。手話を用いることで、互いを知り、互いを理解することができる。私たちは手話に松原高校と同じく愛を感じました。私たちの演劇を観ていただき、松原高校の仲間の愛の暖かさを感じていただくと幸いです。未経験者も多いですが、頑張ります！！	私達は大阪府立松原高校で共に学ぶ仲間を代表した11名です。私達はここにいていいんだと思わせてくれる松原高校を、そして仲間の暖かさを伝えたいです。未経験者が多いですが思いを伝えるため一生懸命頑張ります！	7	○

■第11回全日 ■第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

地域名	都道府県	学校名	演技の種類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	演劇	魔女の願いは	私たちは手話を普通の生活では使う機会があまりなく、遠い存在だと思っていました。ですが実際にやってみると、その言葉のイメージに近い動きで、思っていたよりも理解しやすいものでした。この劇を通して、たとえ耳がきこえなくても、自分がやってきたことを信じて一歩踏み出す勇気を持つことや、お互いにできないことを補い合うことの大切さを伝えたいです。手話を知らない人たちにも、興味を持ってもっと身近なものに感じてもらいたい、そして耳がきこえる、きこえないは関係なく支えあえる環境をつくりたい、という思いを手話や表情で一生意念表現しました。	私たち鳴尾高校総合人間類型は、様々なボランティア活動や社会交流を通じて人間力を養っています。手話を通して仲間とつながりを深め、培った絆を活かして、多くの人に手話の魅力を伝えます。	9	○
近畿	兵庫県	兵庫県立大学附属高等学校	漫才	オリジナル手話	手話が日常の動作に似ているという特徴を活かして、身体の動きで相手に何をしているのかを伝えるオリジナル手話を繰り出して笑いを起こします。	こんにちは、私は高校で漫才をしている空想ロケットのポケ担当、上野蒼生です。今回は耳が不自由な方もそうでない方も楽しめる新感覚手話漫才を披露します。皆さんに笑顔が届けられるよう、精一杯頑張ります。	初	—
近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	演劇	星のふる森	星のふる森という絵本を元にして劇を作りました。物語は星がふるという小さな森が舞台です。森の研究者フクロウの研究によれば、もうすぐ星がふってくるとのこと。森に住む動物たちは星についての噂を聞きつけ森中を探しますが、なかなか見つけることは出来ません。主人公のリスは病気のお父さんの薬をもらいに行くため、出かけますが森は星のことで大騒ぎ。「星がふるってどういうことだろう？」何のことか分からないリスは純粋な気持ちで祈ります。「どうか病気のお父さんをおまもりください。」すると空一面に星が現れたのでした。今まで奈良ろう演劇部が培ってきた手話表現、身体表現を現部員が継承し、この作品に込めました。	私たちは奈良ろう演劇部です。今回は星のふる夜という絵本をもとにして劇を作りました。絵本の中にいる動物たちの気持ちを理解をして、それをどう表現するのかを考えました。新しい部員と一緒に演技を磨きました。	11	○
中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	手話語り (演技付)	『 鍵 』	星新一さんの作品『鍵』を題材としました。朗読に手話を加えた手話語りで、この作品の不思議な世界を表現します。朗読の手話は「日本語対応手話」を用い、語りの抑揚に合わせて、感情を込めました。登場人物は発声なしの「日本語」で演じます。ろう者が日常的に用いる日本語ならではの言語的特性を活かした会話を表現しました。朗読だけ見ても、演劇だけを見てもこの物語が理解できるように作りました。発声の朗読も練習を重ね、聴き応えのあるものに仕上がりました。手話も大きくわかりやすい表現を意識しました。聞こえる人、聞こえない人が同時に楽しめるという私たちが目指す手話パフォーマンスが出来上がりました。	私たちボランティア部は手話学習を通じて地域のろう者の方や手話通訳者の方との交流を深めています。今回の手話パフォーマンスもひとつのチームとしてみんなで完成させました。楽しみながら披露します。	11	○
中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	漫才	一期一会	生徒たちは、日常生活の中の困難さについて、それぞれの経験談を出し合いました。どの生徒も共通して「あるある」と感じたエピソードを取り上げ、どうしたら相手に伝わるかという方法や、お互いに伝えることをあきらめないという気持ちについて話し合いました。また、今年は生徒たちのよさと持ち味を生かすために漫才形式での演技に挑戦します。生徒たちにとって漫才は初めての経験ですが、手話言語や、表情、体の動きなどわかりやすく伝わるように面白く表現する方法の工夫を重ねました。一つの出会いや会話を大事にし(一期一会)、伝えることをあきらめないという気持ちで臨みます。お客様にも一緒に楽しく感じ取って頂けたらうれしいです。	今年も挑戦！チーム「とりろう」です。今年は、仲間で作るおもしろさや自分たちの持ち味を生かそうと考え、「漫才」に初挑戦します。「伝えることをあきらめない」という気持ちを全力でお届けします。	9	○
中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	演劇	ぼくのこと ～みんないろの世界～	耳の聞こえない少年が、友達とうまく話せないことコミュニケーションの難しさに悩んでいる。まわりの人から「なんでだろう?」と思われるが、気にしない人もいる。そんな中、一人の女の子に「なにかあった?」と心配されるが、少年は悩みを伝えられない。その様子をみて、友人に「今はそれでいいんじゃない?」と声をかけられる。少しずつ前を向いていく心の葛藤を演じます。	私たちは、鳥取県立境港総合技術高等学校福祉科こども福祉コースの3年生です。私たちは、どんな時でも明るく、笑いが絶えないクラスです。困っていたら助け合う仲間思いの私たちの演技をご覧ください!!	11	○
中国・四国	広島県	広島高等学校	演劇	旦過寺のたぬき和尚	私たちは手話を使って、もっといろんな人に自分たちの住む地域の魅力を伝え、盛り上げていきたいという思いで、地域の民話を手話で伝えることに挑戦しました。この民話は「旦過寺のたぬき和尚」といわれ、私たちの学校のある東広島市の西条町で語り継がれてきたものです。日本三大酒どころの一つである西条のお酒の魅力を伝えられたり、東広島市観光マスコット「のん太」のモデルになっていたり、地域と深く関係している民話です。このような民話を私たちの地域のほとんどの学生が知らないのが現状です。私たちの演技を見て、より多くの人に少しでも民話に興味を持ってもらい、そこから東広島を好きになってもらいたいと思っています。	私たちは手話が好きだという共通の思いでつながった有志です。みんな手話は初めてでしたが、お互いに助け合い、様々な人に支えてもらいながら一生意念練習をしてきました。手話を楽しんで頑張りたいと思います。	初	—
中国・四国	香川県	高松南高等学校	演劇	共に生きる	耳が聴こえないれんくんと、れんくんと知り合ったことをきっかけに手話を学び始めるそらさん。そんな2人の恋愛ストーリーです。高校生活で大切な人に出会い、一緒にいる時間をかみしめている気持ちを、Mrs. GREEN APPLEさんの「点描の唄」に託しました。聴覚障がいに限らず、どんな障がいがあっても、人と人の付き合いや絆は変わらない。そんな思いを胸に、動画を製作しました。こういった活動が、共生社会へ進むひとつのピースになれば嬉しいです。	高松南高校手話部は、香川県内の公立高校で唯一の手話部です。明るく元気なチームで、手話を学びたい、技術を高めたいと意欲が高い人ばかりです。チャレンジ精神を忘れず、チーム一丸となって楽しみながら頑張ります。	7	—
中国・四国	愛媛県	済美平成中等教育学校・松山聾学校	演劇	ディナーテーブル症候群	丸山正樹氏著書「私のいないテーブルで」に影響を受ける。テーブルを囲み、様々な対話が繰り広げられる中、関係ないという理由で対話に入れない聾者の疎外感や自分だけ異なる世界にいるようなコーダの孤独感を伝えたい。「誰もが生きやすい社会」を目指して、1人でも多くの人が、お互いを知る努力をし続けることが大切であると気付いてほしい。	私たちは、済美平成中等教育学校と松山聾学校の18名で活動しています。限られた時間でコミュニケーションを大切にして、一生意念取り組んでいます。意見を気兼ねなく言い合える仲が良いチームです。	済：2 松：6	○

■第11回全国 ■第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

地域名	都道府県	学校名	演技の種類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
中国・四国	愛媛県	松山北高等学校	演劇	自分の想いは自分の言葉で	「自分の想いを自分の言葉で伝えることの大切さ」をテーマに、演劇をつくりました。自分の心を相手に伝えられる「言葉」は、とても尊いものであり、伝えようと模索する姿は素晴らしいものであることが伝えられたらいいなと思い、テーマを設定しました。この物語は、恋によって手話を知った女子高生が、不器用ながらも自分の想いを伝えようと奮闘する話です。主人公は、恋に真っ直ぐで、時に真っ直ぐすぎて空回りしてしまう女子高生です。私たちが好きな人に対して芽生えてしまう感情を、演技で表現しようと思いました。また、あえて好きな男子を登場させず、そこのいるかのように話しかけるという演技的な表現にも挑戦しました。	私たちは、手話経験者兼リーダーの「手話を広めたい」という想いを基に、ドラマやマンガを通じて手話に興味を持った仲間を集めて結成されました。拙い部分もありますが、一生懸命頑張ります！	初	—
九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	コント	ときそば今様	今回は古典落語を令和・熊ろう版にアレンジしたコントです。道具や仕草などを今風にし、さらには現代の新しい言葉を手話で表現することにも挑戦しました。手話という言語の良さを崩さず、その上で現代の言葉を取り入れるために言葉一つ一つ、手話表現一つ一つをどれがよいか部員みんなで話し合いました。また、落語をやるからには面白さを組み入れることも忘れず、表情や動きを生き生きと表現し、熊ろうらしい明るさとコミカルさを出すことにもこだわりました。私たち4人の個性が詰まった熊ろう手話落語部の魅力を十分に発揮できたと思います。熊本の名産品アビールも含め、郷土愛に溢れたパフォーマンスをお届けします。	こんにちは！熊ろう手話落語部です。出場10回目です。今回も300年以上親しまれている古典落語の演目を、令和・熊ろう版にアレンジ。私たちならではのテンポのいいパフォーマンスを楽しんでください。	10	○
九州・沖縄	大分県	佐伯豊南高等学校	演劇	手話しかない世界で学ぶこと	今はスマホで文字を打ちやりとりができますが、気持ちが伝わりづらくトラブルが発生することも少なくありません。手話は、手話を使っているろう者とコミュニケーションが取れるだけでなく、口話や文字だけでは伝わりにくい感情や気持ちが伝わりやすいため、表現の幅が広がり普段の会話を豊かにしてくれます。多くの人が手話や指文字を少しでも使えるようになれば、今よりも過ごしやすい社会に近づくと思います。私たちはこの劇を通して、手話の楽しさや理解をしようとするこの大切さを知ってもらい、手話に興味をもらいたいです。	私達は福祉科に所属している2年生です。昨年手話の学習を行い、手話の楽しさを知りました。今回のパフォーマンスでは、手話の魅力や楽しさと同時に、聴覚障がいについての理解も伝えられたらと思います。	3	—
九州・沖縄	宮崎県	鵬翔高等学校	演劇	あなたは助けることができますか？	300公園に具合の悪そうな女性が倒れています。苦しそうな様子で気になるが訴えている事が理解できません。看護科の友人と会ったので状況を説明しました。聴覚障がい者とコミュニケーションをとるのは手話の知識があっても勇気が必要です。助けることができるか？と思い切って話しかけたことで救急車を呼ぶことができました。災害時に情報が得られないことがあると学びました。災害時に限らず身近な生活の中でも同じようなことが起こっているのではないのでしょうか。医療従事者を目指す私達は勇気をもって聴覚障がい者とコミュニケーションをとることが命を救う行動につながると考えます。皆が手を取り合いお互い助け合う社会になることを願っています。	鵬翔高校看護科、演劇経験ゼロチームです。手話の演技は表現が難しく苦戦することも多かったですが看護学生としての想いが伝わるようにチーム一丸となって練習を重ねてきました。頑張ってきた手話を是非ご覧ください。	初	—
九州・沖縄	沖縄県	真和志高等学校	演劇	「海の豊かさを守ろう」	私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）の14番目である「海の豊かさを守ろう」をテーマに、沖縄の海の現状と将来について考えてみました。日常使っているビニール袋やペットボトルなどのプラスチックゴミが海に流れ込む状況が続いています。この環境破壊が進むと、将来にどんな影響があるのかを知るため、主人公たちは未来にタイムスリップし、海の未来を知ってしまうという物語です。コミカルでわかりやすい演劇になっていますので、どなたでも楽しんでご覧いただくと嬉しいです。	真和志高校手話部は「楽しみながらも真剣に取り組むこと」をモットーに活動してきました。全員が初めての大会出場で緊張していますが、ぜひ私たちが手話をする楽しさと真剣さを感じていただければと思います。	10	○
近畿	兵庫県	姫路商業高等学校	演劇				初	—